

地域協議会委員の任期満了に伴う改選が行われ、新しい地域協議会委員が決定しました。

今号は、改選により新委員となった委員の挨拶を掲載します。

(委員名簿順、会長と副会長を除く)

なお、新委員の任期は令和6年4月29日から令和10年4月28日までとなります。



新しい地域協議会委員が決定しました

【小林 政弘 会長】

日頃より地域協議会にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。この度の地域協議会の任期満了に伴う改選において、板倉区では、定数14名のところ再任4名と新たに10名の委員が選任され、互選により会長職をお受けすることとなりました。引き続きよろしくお願いいたします。多様な委員の中で女性が3名となり、新たな視点と感性により、視野の広い話し合いに期待しています。

地域協議会の役割と責務は、地域の活力を維持していくことであり、逞しい板倉区を次世代に引き継ぐため、社会環境の変化に合わせて自らの意識を見つめ直すとともに時代に合わせ創意工夫しながら、新たな発想と実行力を高めていく姿勢が大事なことです。私たちを取り巻く社会環境は、人口減少、高齢化の進展やワークライフバランスの調和など、目まぐるしいスピードで働き方や生活

様式が変化しております。

地域の様々な諸課題や地域活性化の方向性を探りながら、行政との協働と関係団体との協調により、将来について、地域目線でご意見をお聞きして議論を重ね、より良い方向性を考えていきたいと思っております。

これまでも地域協議会においては、廃校の利活用や将来を見据えた観光資源や歴史・文化的資源の保存、活用について、町内会長との意見交換や関係団体との対話により課題共有を図ってきました。これからも板倉区が将来にわたる安心安全で暮らしやすい、希望あふれるまちづくりの実現を目指して、観光振興、福祉、防災面の充実に向けて話し合い、地域と一体となって進めていきたいと考えております。地域のみなさんからのご理解とご支援をよろしく願います。

【植木 節子 副会長】

地域協議会委員2期目、宮島在住の植木です。

1期目は女性1人で、コロナ、マスクでお名前もお顔も覚えられなく、右も左も解らない状態でした。皆さん真面目に板倉区を元気に明るくしたいと熱く語る方々ばかりでした。私も色々勉強になりました。中々思い通りにはならない事が多いです。

私には、夢があります。別所地内の砂利採取跡地をなんとかしたい。災害の多い昨今、大雨で川への土砂の流出や橋が壊れるかもしれません。次の時代の人たちに負の財産を残したくはありません。微力ですが、明るく、安心で安全な地域のお手伝いが出来れば幸いです。

【秋山 秀夫 委員】

桜ヶ丘在住の秋山秀夫です。地域協議会委員2期目になります。

1期目では板倉の豊かな自然を守る人、伝統ある文化・歴史を継承する人等板倉区のために活動する多くの人たちにふれあうことができて感謝しているところです。

民生委員・児童委員、防災士の活動の経験を活かし福祉の拡充、安心・安全で快適な生活環境への提言をしたいと思えます。ご支援、ご協力をお願いします。

【新井 武司 委員】

地域協議会委員へは地域の町内会長より背中を押されて応募いたしました。

どの様な仕事なのか、右も左も分からない新人ですので先輩方々のご指導の下、板倉区のために少しでも貢献できればと思います。

それには、難しいことですが聞き上手になり色々な意見や考え方を理解し、勉強することだと思っております。

これからの4年間、皆様の足を引っ張らないように頑張りたいと思います。

【小川 義雄 委員】

このたび、新しく板倉区地域協議会委員としての活動をさせていただくこととなりました小川義雄と申します。よろしくお願いいたします。

自宅は、板倉区中之宮にあります。そこで、妻、子供、孫などと6人で暮らしています。

これまで仕事柄、定年を向えるまで県内各地を転々としてきた関係で、出身地・板倉のことは無知の状態の私ではありますが、安全安心な住みよい板倉区にするための地域活動に積極的に取り組んでまいりたいと思えますので、よろしくお願いいたします。

【釜田 富男 委員】

今年度から板倉区地域協議会委員となりました、宮島在住の釜田富男です。

以前は県職員として、福祉や病院の行政業務を多く担当しておりましたので、これらの経験を活かし、板倉区の課題に向き合っていきたいと思っております。それには「地域の宝や難題」を知り、「住民の声」を聞き、そして、活かす事が大切です。

微力ではありますが、「13人の仲間」と共に力を合わせ、板倉区の地域づくりに努めて参りたいと考えております。

【小林 昌子 委員】

この度、地域協議会委員を、初めて務めさせていただきます。分からない事も多く、毎日が勉強です。

さて、板倉区には、興味深い史跡がたくさんあり、私も歴史が好きで、山城や石仏などいろいろな所に出かけています。皆さんにもそのすばらしさを知ってもらいたいと思っております。

これからの4年間で地域の課題に取り組んでまいります。まだまだわからない事がたくさんありますので、皆さんと協力しながら務めていきたいと思えます。

【清水 淳一 委員】

板倉区地域協議会委員に公募し4年間つとめさせていただくこととなりました、緑ヶ丘の清水淳一です。

板倉に生まれ育ち72年間過ごしてきましたが、残念ながら地元に貢献していると感じたことがありませんでした。今回、地域協議会の公募があり、少しでも地域のことを考え区民の目線で議論に参加したいと思っております。上越市の中でも、板倉に住んでみたい・行ってみたい・参加してみたいなど、魅力ある区にしたいと考えています。

いろいろな考えのある方などと意見交換をしながら、お互いに切磋琢磨し「魅力あるいたくら」をみんなで作っていきましょう。

【庄山健 委員】

2 期目となり、地域活性化について、観光も含めた板倉の地域づくりについて、今後は「まちづくり振興会」が中心となり進めていくことが決まったことは大きな前進だと感じました。

今後、地域の安全・安心への思いも同様に話し合わせていただきます。

【中澤健一 委員】

東京より移住し今年で5年目となります。縁あって板倉に住むこととなり、地域のためになにか貢献出来ることはないかと思ひ、4年前からNPO法人板倉まちづくり振興会の事務局で会の運営や地域に係る行事等のお手伝いをさせていただいております。

「板倉ふれあいまつり」をはじめいろいろな地域活動を通じて、多くの方々に支援、ご協力をいただいたり、時には叱咤激励もいただきながらダイープな板倉移住生活を楽しんでおります。

「板倉に住んでいて本当に良かった」と地域の皆さんが笑顔で語っていただけるとうな「地域づくり」を目指し、微力ではありますがが尽力してまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【深石敦子 委員】

この度、板倉区地域協議会委員の皆様の間に入れていただくことになりました。会議に出席しましたが、まだわからないことばかりで、委員皆様のお話を聞き逃さないように集中することで、精いっぱい状態です。

「ふるさと」の歌詞に、「山はあおき・・・水は清き」とありますが、まさにこの板倉には、豊かな自然と歴史、温かい人がいます。

このふるさとを大切に思い、地域協議会委員として精進してまいりたいと思ひます。

【藤原順昭 委員】

今年度から、板倉区地域協議会の委員を務めさせていただきます。

これまで43年間、福祉施設の処遇職員・福祉事務所や児童相談所のソーシャルワーカー・相談支援事業所の相談支援専門員として児童福祉・障害者福祉に携わり今春にリタイアしました。

地域協議会では、「健康福祉部会」に加えていただきました。

生まれ育った地域に戻り、地域の福祉に貢献することができればと思っております。

【南直樹 委員】

板倉区の良いところをたくさん感じながら生活しています。

地域協議会委員として、「板倉区」とこれまで以上に真剣に向き合い、板倉区の「良さ」、「課題」、「今後」などについて、自分のできる限り、精一杯取り組んでいきたいと思ひます。そのため、地域の皆様とつながり、声を聞き、「絆」を深めていくことを大切にしていきます。

委員としての重責を感じながら、「想い」をつないでいきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

【山本孝一 委員】

長いサラリーマン生活に区切りをつけた途端、待つてましたとばかり町内会・地区連絡協議会ほか多岐にわたり役員を引き受けざるを得ない状況となりました。さらにこの度は地域協議会委員まで背負うこととなり、大変困惑しているところで

しかしながら、生まれ育った板倉の地に今更ながら愛情を感じつつ、微力ながら何か貢献できないかとの想いに至り、仲間に入れさせていただき

ました。今後、高齢化の加速と少子化の問題が拍車をかける中、大きなことはできずとも、少しでも地域のために尽力したいと思ひます。4年間よろしくお願ひいたします。

地域協議会のメンバーです！
よろしくお願いたします！



前地域協議会長からのあいさつ

【平井 達夫 前会長】

平成20年4月から令和6年4月までの16年間も
の長きにわたり地域協議会
委員となり、会長職10年
を務めさせていただきまし
た。その間、多くの皆様方
からご理解とご協力を得ま
した事を書面をお借りし厚
く御礼申し上げます。また
大過なく任務を終えた事に
安堵するとともに地域協
議会委員として共に協議・検
討を重ねた委員の方々に感
謝を申し上げます。在任中
は「地域協議会の任務と
は」を常に念頭に置き地域
の課題解決や活性化のため
に努力したつもりです。問
題課題は多々ございました
が、その中で、地区別意見
交換会で「今後の小学校の
在り方」が全ての地区から
提案され、最重要課題とし

て全員体制で取り組みまし
た。勉強会等を重ね各地域
に出向き、色々な世代の方
や、色々な組織の方々と話
し合い、その意見集約は
トータル18回、参加者860
余名に及びました。議論を
重ねた結果、針・山部・宮
嶋の各小学校を統合する結
論に達し、令和3年4月
板倉小学校の誕生が実現し
たのです。

地域協議会は総合事務所
と地域の問題課題を解決す
る機関であって車の両輪で
す。車がスムーズに前進す
るよう、板倉区の更なる発
展を祈念し退任の挨拶とい
たします。

つづいて

日本各地で線状降水帯
が発生し、災害発生に懸
念を抱き、五風十雨を祈
念しております。

板倉区地域協議会は4
月の改選で新任10名、再
任4名の計14名で活動
を行うことになりました
た。新たな目で課題の抽
出ができるかと期待してい
ます。

板倉区地域協議会に設
置された3部会のうち産
業建設部会が地域防災部
会に変更になり、地域振
興部会、健康福祉部会、地
域防災部会で現状の把
握、課題の深堀を行いま
す。

原則として毎月第4火
曜日の午後6時から会議
が行われます。多くの皆
様が傍聴されますよう
願っております。

(編集委員 秋山 秀夫)

○令和6年度の地域協議会だより編集委員をお知らせします

編集委員長：秋山 秀夫

編集委員：新井 武司、小川 義雄、釜田 富男